



MACQUARIE
BANK

2006年4月25日
株式会社新生銀行
マッコーリー銀行

新生マッコーリーアドバイザー株式会社の設立合意に関するお知らせ

株式会社新生銀行とオーストラリアのマッコーリー銀行は、折半出資の合弁会社「新生マッコーリーアドバイザー株式会社」（以下、新生マッコーリー）を日本に設立することに合意いたしました。

新生マッコーリーは、長期安定型の収益構造を持った資産の買収や管理運営に関するアドバイス提供に焦点を絞り、日本のインフラおよびその関連セクターへのアドバイスを行う予定です。

対象としているインフラには、テレコミュニケーション、メディア、交通などを含みます。

新生マッコーリーは、その設立の土台を両行のコーポレートファイナンス能力に置き、日本経済の回復、官から民へという日本の経済構造変化に対応していく予定です。新生マッコーリーの業務開始は、わが国金融資本市場の発展に重要な一歩を築くこととなります。

マッコーリーは、インフラに関する専門性、インフラやインフラファンドにかかる知識、能力、そしてグローバルな企業金融およびキャピタルマーケット業務における高度なノウハウを有しています。また、新生銀行は産業界、公的機関、行政と友好関係を広範に築いており、証券化やストラクチャードプロダクトの分野で、日本市場のリーダーの一員でもあります。

新生マッコーリーとしては、官・民が有するインフラないしインフラに類似する資産が非常に多い日本市場に注目しております。また、日本政府が推進中の公的部門改革にも注目し、協力していきたいと考えております。

新生銀行とマッコーリー銀行は、潜在的なビジネスチャンスについて、すでに分析を開始しております。

以 上

新生銀行について

株式会社新生銀行(コード番号：8303 東証第一部)は、健全な財務体質と、インスティテューショナルバンキング、コンシューマーアンドコマースシャルファイナンス、リテールバンキングを3つの戦略分野とするビジネスモデルをベースに、法人および個人のお客さまに、幅広い金融商品・サービスを提供しています。総資産は、9.3兆円(連結ベース、2005年12月末)、国内に29本支店・9出張所を展開しています。

新生銀行は、お客さま、株主の皆さまならびに従業員の信頼を得るために、全ての行動において、妥協を許さない誠実さと高い水準の透明性を追求し、長期的・安定的な収益の成長を図るとともに、すべてのステークホルダーのために企業価値を高めてまいります。ニュースリリースや当行についてのその他の情報は、<http://www.shinseibank.com>をご覧ください。

マッコーリーグループ概要

マッコーリー銀行グループは、23カ国に7600人を超える専門家を配し、金融、投資銀行サービスを提供する、国際的な金融機関です。アジア10カ国及びその周辺地域には、1000人超のスタッフがおり、コーポレートファイナンス、ストラクチャードファイナンス、ワラント・仕組み商品、機関投資家向け株式ブローキング・リサーチ、プロパティアドバイザー、及びマネージメントサービス等の業務を提供しております。

2005年3月31日現在のマッコーリーグループの総資産は380億米ドル(約4.5兆円)で、さらに690億米ドル(約8.3兆円)の資産を管理しています。

インフラセクターやインフラファンドの成功、およびインフラ投資、アドバイザー業務およびファンドマネージメントサービスの継続的な成長はこれらをマッコーリーグループの主要たらしめております。

マッコーリーに関するニュースリリースやその他の情報は、<http://www.macquarie.com>をご覧ください。

(別添)

合併会社概要

1. 名称：新生マッコーリーアドバイザー株式会社
(英文名；Macquarie Shinsei Advisory Co., Ltd.)
2. 所在地：東京都千代田区内幸町2丁目1番8号
3. 主たる業務：投資アドバイザー業務
4. 当初資本額：10百万円の予定
5. 取締役：(新生銀行側4名、マッコーリー銀行側4名)
7. 職員：両社より出向予定